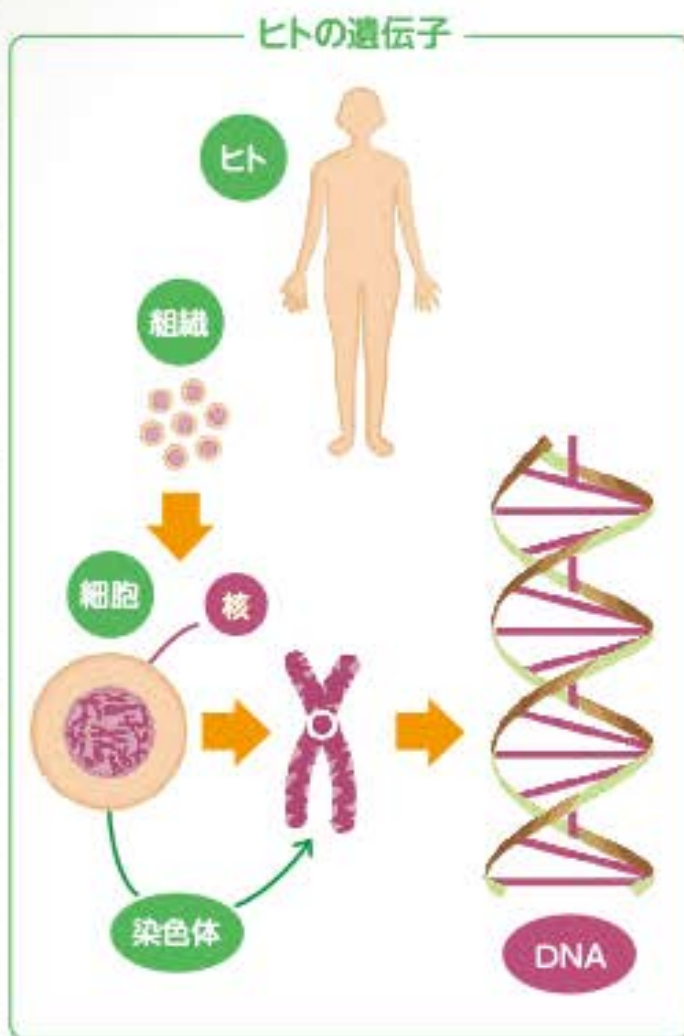


## 遺伝子組換え食品のお話②

## 1. 遺伝子とは

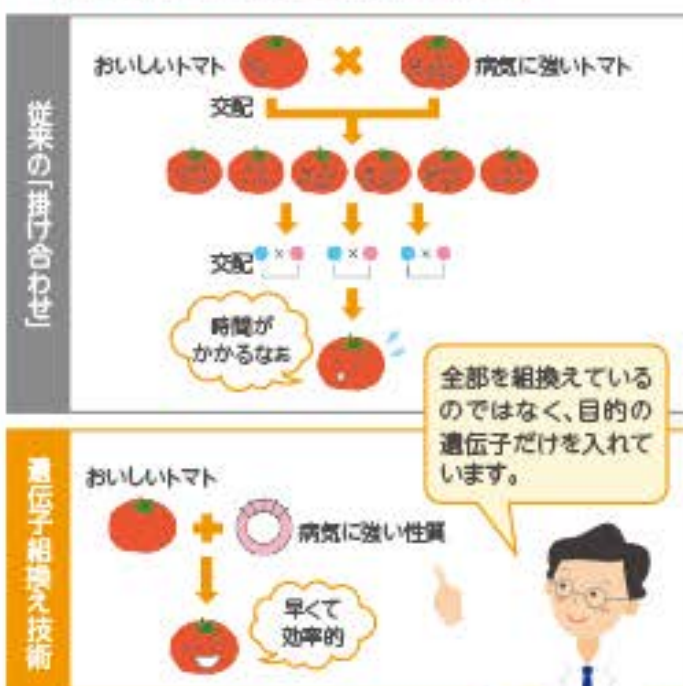
- (1) 生物のかたちや特徴を決めているものが「**遺伝子**」で、親から子へと受け継がれていきます。
- (2) 遺伝子は「**DNA(デオキシリボ核酸)**」という物質からできています。



- ①すべての生物は「**細胞**」という基本構造を持っています。
- ②細胞の「**核**」と呼ばれる部分に「**染色体**」があり、この中に「**DNA**」が折りたたまれて入っています。
- ③DNAは「アデニン(A)」、「チミン(T)」、「グアニン(G)」、「シトシン(C)」という**4種類の物質(塩基)**からできており、はしごをひねったような形で並んでいます。その「**並び**」が、親と同じものを作る「**遺伝情報**」です。
- ④「**遺伝情報(塩基の並び方)**」によって、その生物の体や生命活動に必要な**タンパク質**が作られます。
- ⑤ある生物を構成する「**遺伝情報**」のセットを「**ゲノム**」と言います。人の場合(ヒトゲノム)は、約30億個のDNAの塩基配列に情報として記録されています。

## 2. 遺伝子組換え技術とは

- (1) 私たちが口にしている野菜や果物、家畜のほとんどは、「**品種改良**」されたもので、自然にあったものではありません。  
「**掛け合わせ**」の手法によって、遺伝子を組み換え、植物や動物の性質を自分たちにとって都合の良いものに変えてきました。
- (2) 「**遺伝子組換え技術**」は、生物の細胞から有用な性質を持つ遺伝子を取り出し、他の植物などに組み込む技術です。  
従来の「掛け合わせ」による品種改良と違い、生物の種類に関係なく色々な生物を品種改良の材料にすることができます。改良の範囲(性質)を大幅に拡大したり、改良の期間を短縮できます。
- (3) 従来の「掛け合わせ」も「遺伝子組換え技術」も**DNAの配列を変える「遺伝子の組み換え」を行っていることに変わりはありません。**



## 3. 遺伝子組換え食品とは

遺伝子組換え技術を使って品種改良した農産物を、遺伝子組換え農産物といいます。遺伝子組換え農産物とその加工食品の両方を遺伝子組換え食品といいます。

## この後の「お話」の予定

- 9月 「遺伝子組換え作物の現状」  
10月 「安全性の確認」  
11月 「いずみ市民生協の考え方と取り組み」